

谷川連峰：馬蹄形縦走

◆日程 2017年11月3日(金)～11月4日(土)

◆メンバー L：日比野、山中、田村、池本、岡村

前日、横浜をたち、水上道の駅で仮眠をとる。朝、道の駅周辺は朝焼けと紅葉できれいな景色が広がり気持ちのよい出発となった。

11月3日(土) 天候：快晴

登山口からはひたすら急坂で登っても、登っても続く坂道に私は気が遠くなりそうでしたが、遅れないよう必死に歩き続けました。白毛門の山頂近くなると視界も開けて、左側に谷川岳もよく見えました。

白毛門から先は少し楽になるかと期待していましたが、笠ヶ岳まではまた登りが続き、すでに疲れていた私はかなり辛かったです。

笠ヶ岳から朝日岳までは、少しアップダウンはあるものの歩きやすくなり、広い緑の草原のような風景に癒されながら進むことができました。朝日岳を過ぎると下りになり、道は雪どけのドロドロ道になりました。遠くに避難小屋が見え隠れして早く着きたいと思うものの、泥道で私のペースも遅くなかなか小屋が近くならず、到着した時はやっと着いたという感じでした。避難小屋には他に誰もおらず、山中さんの楽しいお話で盛り上がり1日目は終了しました。
(記：池本)



CT：起床(5:20)、駐車場出発(6:40)、一本(7:15～7:25)、一本(8:20～8:33)、一本(9:30～9:50)、白毛門山頂(10:10～10:33)、笠ヶ岳避難小屋(11:45～12:25)、一本(13:26～13:40)、朝日岳(13:50)、ジャンクションピーク(14:20～14:28)、鉄塔(15:42～15:57)、白崩避難小屋着(16:05)、消灯(21:20)

11月4日(日) 天候：雨のち曇り

朝、避難小屋を出ると、しとしと雨が降っていた。レインウェアをしっかりと着込んで準備する。馬蹄形縦走、残り8時間の行程に気合を入れる。雨でぬかるんだ泥道に足を取られながら、少しずつ歩を進める。やっぱり、初日のように登って下つての繰り返し。初日の疲労なのか、少し筋肉痛を感じる。天候が回復する気配はなく、むしろ雨脚は強くなっているように感じた。

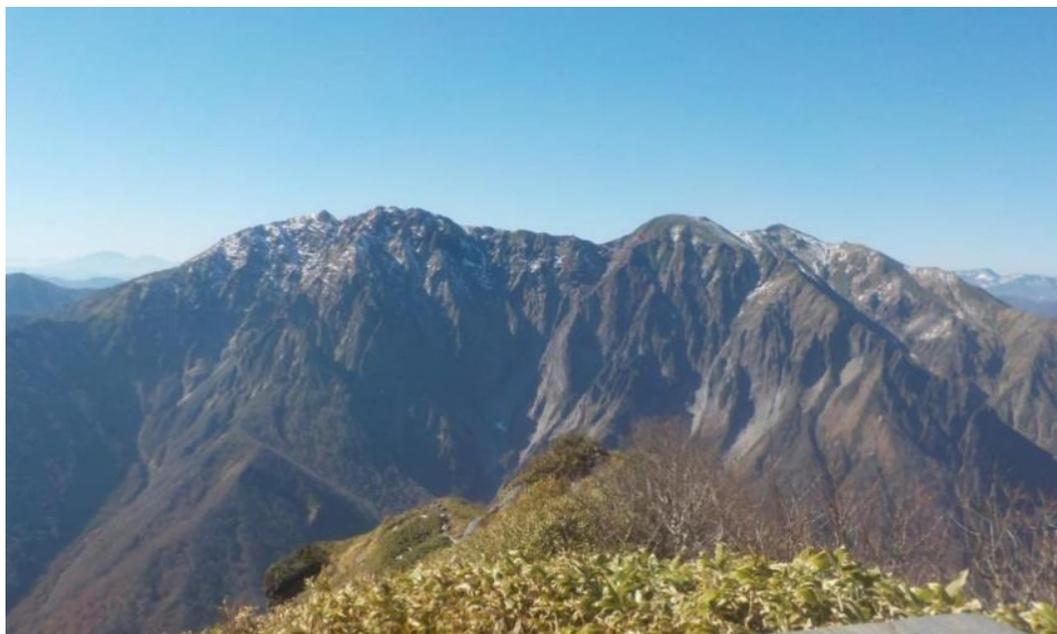


蓬ヒュッテで雨宿りがてら小休止する。雨に濡れた身体を休ませる。ここでこの先の行程についてパーティー全員で議論した。このまま馬蹄形完走を目指すか、土樽にエスケープするか。・・・ざっくり議論をまとめると、「天候の回復が見込めない中、苦しいロングコースを踏破するにはテンション上がりませんよね」という雰囲気なり、土樽エスケープに決定した。

少しもったいない気もしたけど、また来ればいいよねってことで。土樽へエスケープしたといっても、それなりに歩行距離・行動時間はあって、土樽駅に着いた頃にはそれなりに疲労感&達成感はあった。

1日目のような、ど・ピーカンがずっと続けば、きっと素晴らしい馬蹄形縦走になっただろうが、山の天気ばかりは仕方ない。また機会に恵まれれば、ぜひ馬蹄形完走にチャレンジしたい。
(記：田村)

CT：起床(4:45)、白崩避難小屋出発(6:05)、蓬峠(8:05～8:30)、林道(10:30～10:45)、土樽駅(11:40～12:29)、土合駅着(12:39)



谷川本峰が迫ってくる (白毛門山 山頂)



あそこまで行けば楽になれるぞー (白崩避難小屋)